

# イカナゴ情報 No.1 (2015年6月)

平成 27 年 6 月 26 日

稚内水産試験場調査研究部 (担当: 美坂) Tel. 0162-32-7166

宗谷海峡周辺において主に沖合底びき網 (以下, 沖底) により 6~9 月に漁獲されるイカナゴ類<sup>1</sup>の漁獲物調査と漁場環境調査の結果についてお知らせします。

## 漁獲物調査: 今年 6 月は体長 15~20 cm の 1~2 歳魚が主体 (図 1)

昨年の漁獲量は, 宗谷海峡周辺でイカナゴ漁が盛んになった 1960 年代以降で最低となりました。この不漁要因としては, 近年の漁獲を支えてきた 2008 年級 (2008 年生まれ群) が少なくなってきたことや, 何らかの環境要因により魚群の来遊量が少なかったことなどが考えられます。昨年まで 2008 年級に続く豊度の高い年級が確認されていなかったため, 今漁期はイカナゴ類がどれくらい獲れるか心配されていましたが, 今年の漁獲量は 6 月中旬の時点で, すでに昨年の総漁獲量を上回っています。

今年 6 月の漁獲物について標本測定調査を実施したところ, 体長 16 cm 前後の 1 歳魚と体長 19 cm 前後の 2 歳魚が主体となっていました。近年, 6 月は体長 22 cm を超える 3 歳以上の大型魚が主体でしたが, 近年のなかでは豊漁であった 2010 年にも 6 月から 2008 年級が 2 歳で漁獲されていたことから, 2013 年級 (今年 2 歳) と 2014 年級 (今年 1 歳) は 2008 年級のような高豊度年級である可能性があります。

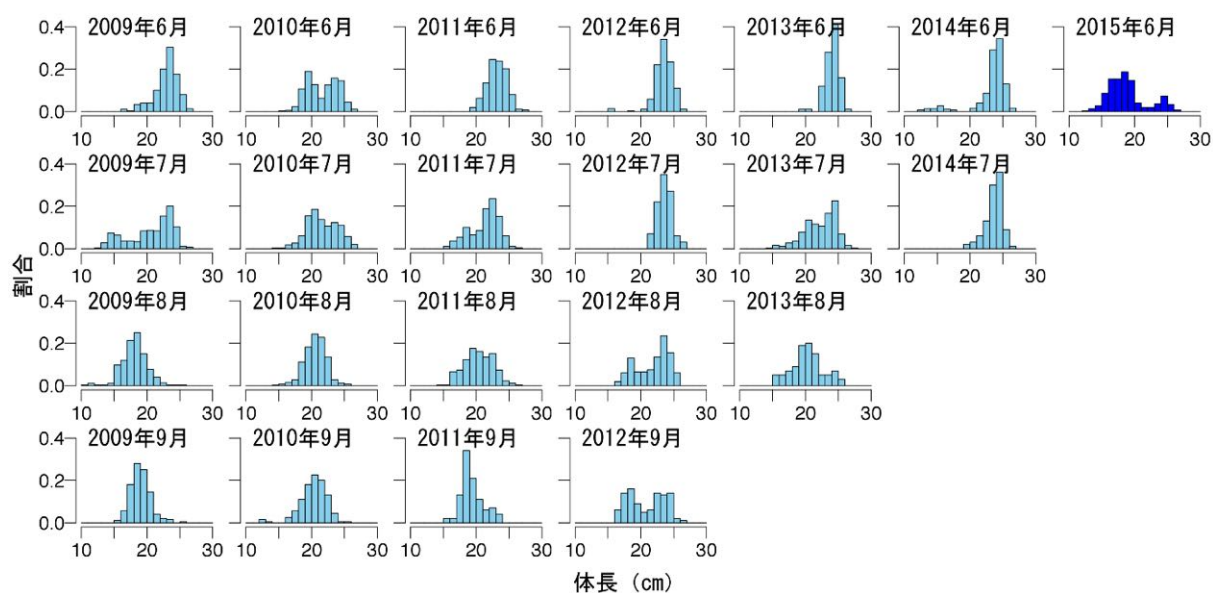


図 1. 稚内港に水揚げされたイカナゴ類漁獲物の月別体長組成 (2009 年以降)。

<sup>1</sup> イカナゴ類にはイカナゴ, オオイカナゴ, キタイカナゴの 3 種が含まれる (Orr *et al.*, 2015)

**海洋観測：水深 50 m 前後における底層水温は昨年より低め（図 2）**

宗谷岬東方において、6月22日と25日に計2回の海洋観測を実施しました。2回の観測結果から、イカナゴ漁場付近の水温は短時間で大きく変化することが確認されました。また、昨年同時期と比較すると、今年は沿岸側に分布する8℃以上の温かい水塊がイカナゴ類の漁場となる水深50m以深には達していませんでした。

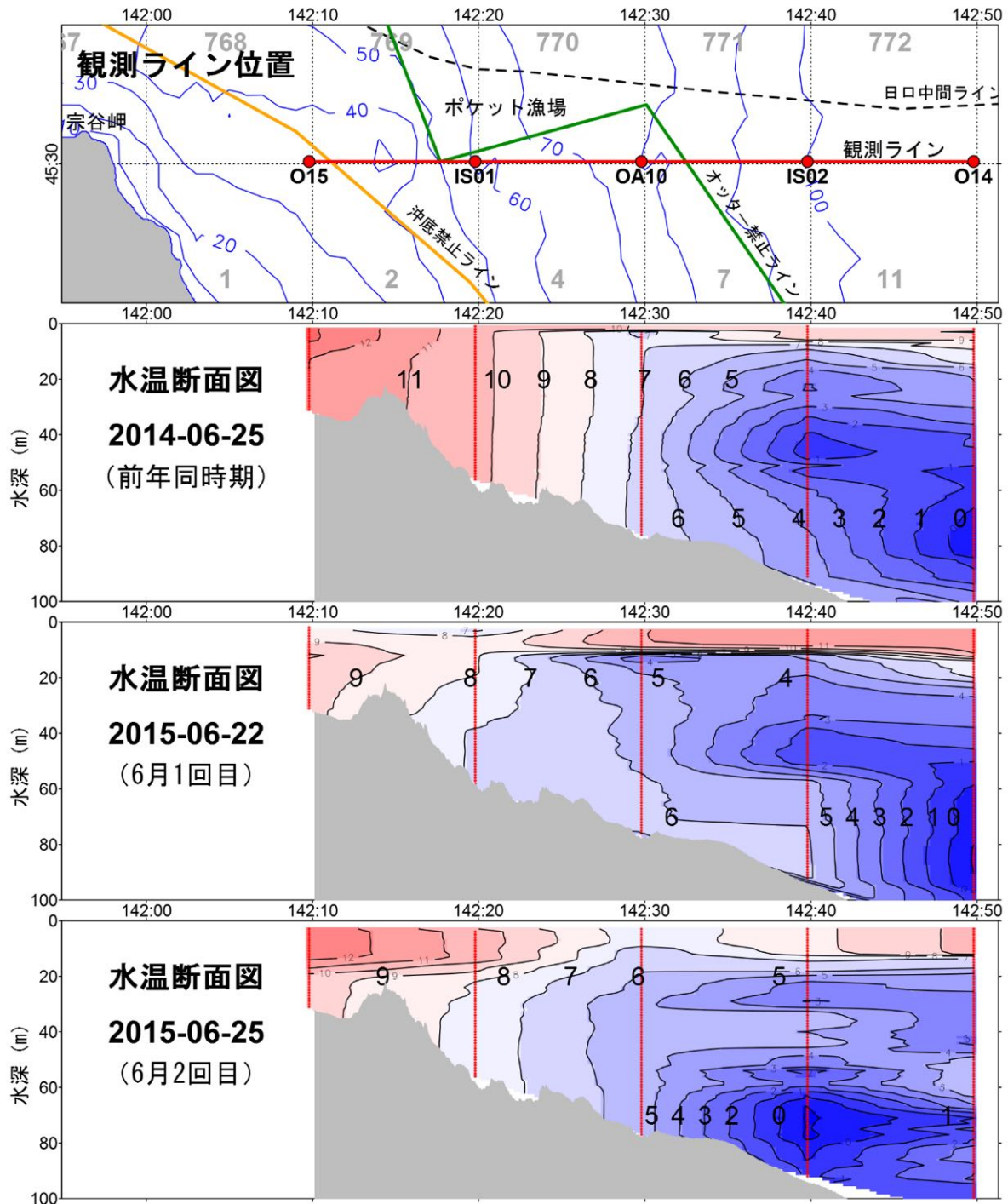


図 2. 海洋観測・魚探観測ラインの位置と水温断面図.

### 魚探観測：イカナゴ類と思われる棒状反応を確認（図 3）

海洋観測と同じラインで実施した魚探観測では、イカナゴ類の魚群と思われる棒状反応が水深 60~80 m で多く観察され、その数は昨年 6 月の観測よりもかなり多くなっていました。6 月 22 日午後よりも 25 日朝の方がより多くの反応が観察されたことから、朝まずめに活発な摂餌活動を行い、日中は海底付近に分布する個体が多くなるものが推察されます。

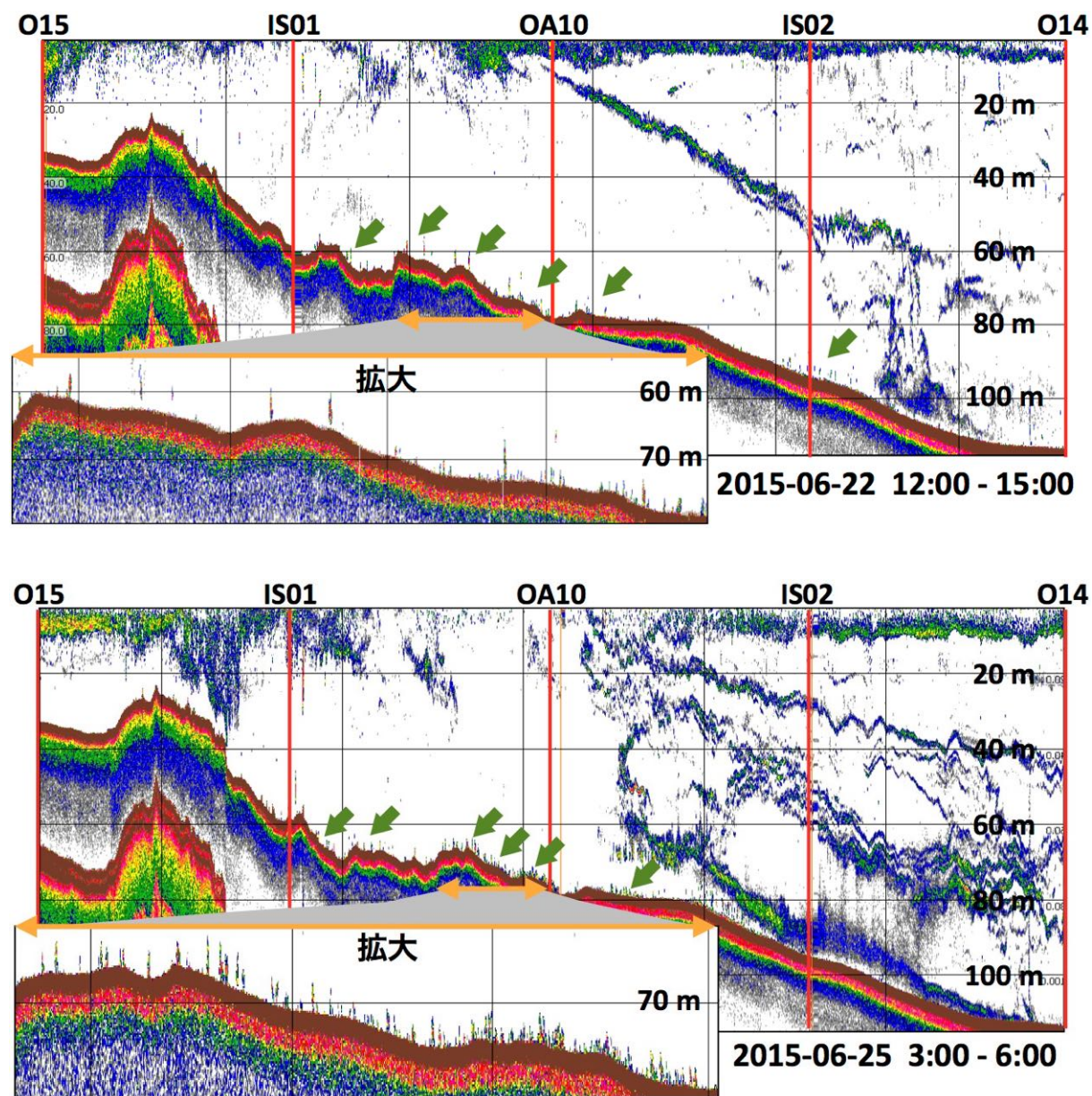


図 3. 魚探画像. O15~O14 ライン, 2015 年 6 月 22 日, 25 日.

矢印がイカナゴ類と思われる棒状反応, 表中層の反応はプランクトンなど.